

なんなん通信

令和3年6月23日発行
加茂名南小学校通信 No.53
(バックナンバーは本校のホームページに掲載しております。ぜひ、ご覧ください。)

1学期5回目のオンライン朝会の話



校長の奥村兆男（おくむら よしお）です。

いつも「なんなん通信」をご覧ください、ありがとうございます。第53号をお届けします。最後までお読みくださいますと幸いです。

保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、適切にご対応いただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

さて、6月20日（月）は、1学期5回目の朝会となります。わたしはパソコンの画面からオンラインで教室にいる子どもたちに、次のような話をしようと考えています。

「全校の皆さん、おはようございます。」

教室で静かに話を聞く準備ができていますか。今朝は、1学期5回目のオンライン児童朝会です。2年生の皆さん、国語で「スイミー」の勉強をしていますね。これは、「魚」、何と読みますか。そうです。「さかな」です。「水中ブルドーザーみたいな何ですか。」そうです。「いせえび」です。大きな魚を追い出すために、スイミーは、「ぼくが、何になる。」と言いましたか。そうです。「目」です。音楽で「鍵盤ハーモニカ」の練習できていますか。2年生が朝の会で歌っている、今月の歌「虹」はとてもいい曲ですね。学校は楽しいですか。校長室まで、元気な心の声が届いてきました。

さて、今日は、「プール開き」、水泳学習が始まります。お天気の日が続くことを祈っています。前回の児童朝会で、校長先生は、「皆さんの教室はまちがうところです。」と言いました。あれから2週間が経ちました。皆さん、授業中、まちがいを恐れず、たくさん発表ができましたか。先週は、PTA 授業参観日があり、おうちの人が大勢、授業を見に来ていました。どの学級の皆さんもどんどん発表ができていました。どの発表にもまちがいはありませんでした。

前回の校長先生が小学生の時、「【胡座をかく】とはどんな座り方ですか。」と先生から尋ねられた時の話を思い出してください。どんな座り方かというと、座敷に足を組んで座ることを言います。それと、「胡座をかく」には、もうひとつ意味があると言いましたね。国語辞典で調べた人がいたなら、校長先生はうれしいです。これが「勉強」です。もうひとつの意味は、「のんきにかまえて、何の努力もしないことのとえ。」です。ぼくは、わたしは、テストで、いい点数がとれているから、授業中も先生の話の聞かなくても大丈夫。宿題も適当にして出してさえいればそれで OK と思っている人はいませんか。そのような態度や考え方を「胡座をかく」と言います。「のんきにかまえて、何の努力もしない」といつか大きな壁が立ちだかかった時に、自分自身が困ってしまいます。どうしていいのか分からなくなります。そうなる前に、今できていることでも、常日頃から前向きに、一生懸命に取り組むことがとても大切です。努力は人を裏切りません。努力したら必ず結果が出ます。

最後に、熱中症事故防止対策で、ひとつお願いがあります。保健室前の掲示板にもありますが、こまめな水分補給、汗ふきタオル、それと予備のマスクを毎日持ってきてください。

それでは、今週も頑張りましょう。これで校長先生のお話を終わります。

次号は、「歯科健診」の様子についてお伝えしてまいります。